

令和 7 年度 日本相談支援専門員協会 北海道・東北ブロック研修 in 青森

開催要項

テーマ「希望のしくみをつくる人たちへ」～相談支援専門員のミライを考える～

1. 趣旨

相談支援事業を取り巻く状況は常に変化し、基幹相談支援センター、地域生活支援拠点等、(自立支援)協議会との連携など、個別のケースマネジメントのほかに、ソーシャルワークの視点を求められることも多くなっています。しかし、少子高齢化、福祉系の養成校の減少、人材不足など、課題も山積しています。振り返った時に、後進がいるのか不安になることもあります。日々の業務で忘れがちになっている、相談支援事業のやりがい、楽しさを見つめなおし、将来憂うのではなく、前向きに考えることができたらと、研修を企画しました。相談支援事業、障がい児・者福祉の明るい未来のために、今できることを検討し、共有する機会といたします。

2. 主催

青森県相談支援専門員等協会、北海道・東北ブロック研修 in 青森実行委員会

3. 協力

特定非営利活動法人 日本相談支援専門員協会

4. 後援

青森県、青森市(予定)

5. 日時

1日目:10月3日(金)13時20分～17時

※13時～受付開始

※18～20時 情報交換会 同会場にて

2日目:10月4日(土)9時～13時

6. 場所

ウェディングプラザアラスカ B1F サファイヤの間

青森市新町1丁目11-22 (JR・青い森鉄道 青森駅東口から徒歩5分)

7. 研修プログラム

<1日目>10月3日(金)13:20～17:00

13:00～13:20 受付

13:20～13:30 開会あいさつ

13:30～16:50 講義、演習

ムーンショットを考える ～デジタルで相談支援専門員のミライを語ろう～

講師:総務省 地域情報化アドバイザー 宮崎 昌美氏

演習補助:NSK 政策委員会委員長 野崎 陽弘氏、NSK 政策委員

16:50～17:00 事務連絡

「ムーンショット (Moon Shot)」とは、前人未踏で非常に困難でも、達成できれば大きなインパクトをもたらす、イノベーションを生む壮大な計画や挑戦のことをいいます。相談支援専門員にとって、最も理想的な状態を掲げて妥協せず挑戦していく目標として、本研修でも用いています。

※本来は月に向かってロケットを打ち上げることを指します。第 35 代アメリカ合衆国大統領の J.F.ケネディ氏がアポロ計画を発表し、人類を月面着陸させるという前代未聞の挑戦を有言実行したことから、困難は伴うが野心的で夢のある計画のゴールをムーンショットと呼ぶようになりました

<2日目>10月4日(土) 9:00~12:45

9:00~9:10 2日目の研修趣旨説明

9:10~9:30 NSK 都道府県協会との連携強化に向けて(仮)

講師:NSK 代表 富岡 貴生氏

9:30~10:30 ブロックの各道県から状況報告

10:30~11:00 協働型の進め方(仮)

講師:NSK 政策委員会委員長 野崎 陽弘氏

11:00~12:15 グループワーク

12:15~12:30 講評

12:30~12:45 次担当県への引継ぎ 閉会挨拶

12:45~13:00 事務連絡

※内容は変更する場合がございます

8. 対象 相談支援関係者、行政関係者、障がい福祉事業関係者、保健・医療・療育・教育関係者、就労支援関係者、その他障がい者・児への支援に関心のある方々

9. 参加定員 100 名(定員になり次第、締め切りいたします)

10.参加費 日本相談支援専門員協会会員、各道県協会会員 5000 円 非会員 8000 円

学生 無料

※参加費は、当日受付にてお支払いくださるようお願いいたします

11.情報交換会 参加費 6600円

※情報交換会費は、当日受付にてお支払いくださるようお願いいたします

12.申し込み

Google フォームからお申込みください

※対応が難しい方は、問い合わせ先メールにてご連絡ください



https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfIFx5JFvqa_LRIfvUzpgghKzkFLVSVjXOhYw5vn5WYWRxsFYA/viewform?usp=dialog

13.問い合わせ先

青森県相談支援専門員等協会 事務局

miraifukushi.net@gmail.com

※ 問い合わせはメールにてお願いいたします